

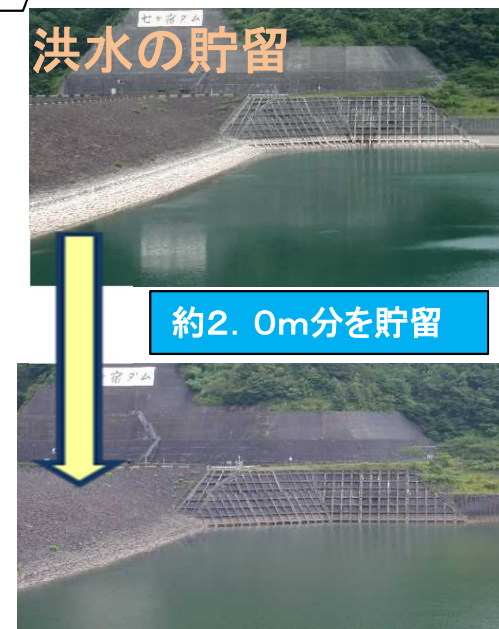
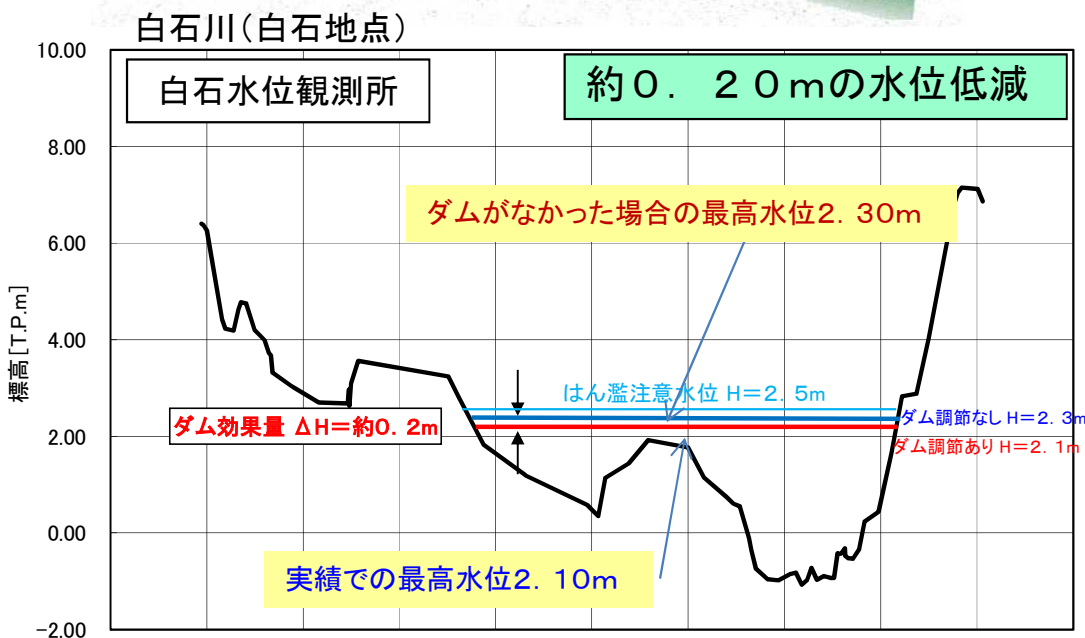
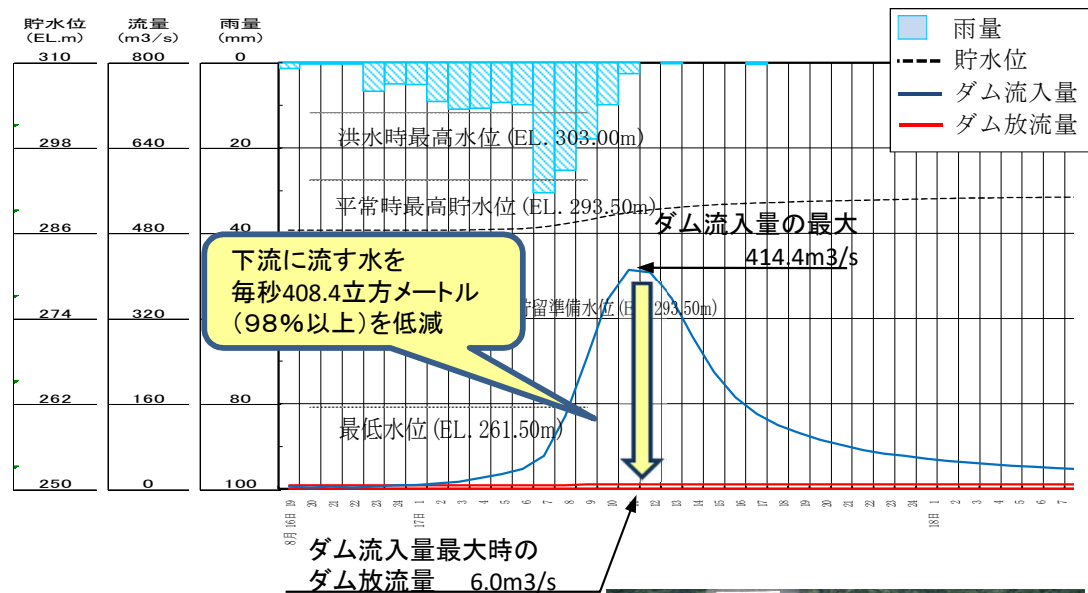
台風7号出水における七ヶ宿ダムの効果(平成28年8月17日)

(速報値)

○8月17日、台風7号による降雨により、七ヶ宿ダム上流域の平均累計雨量(16日19時~)は154.5mmに、最大流入量は1秒間に414.4立方メートル(七ヶ宿ダム管理開始以降第5位)に達しました。

○今回の出水においては、ダム下流に流す水の量を毎秒約6.0立方メートルに抑えた(最大流入量時は約98%を調節)ことにより、下流の白石市内(白石水位観測所:同市半沢屋敷)で、水位を約0.20m低減させる効果があったものと推測されます。

○貯め込んだ洪水量は合計約700万立方メートル(東京ドーム約6杯分)で利水容量69%→86%へ回復することができました。



※本資料の数値等は速報値であるため今後の調査で変わる可能性があります。